令和 8 年 10 月 1 日
東日本高速道路株式会社　北海道支社

冬季の高速道路の安全な交通確保のため 24 時間体制の気象・道路状況把握と雪氷対策作業を開始

～全道 5 か所の管理事務所で「雪氷対策出陣式」を実施～

NEXCO 東日本北海道支社（札幌市厚別区）は、**令和 8 年 10 月 16 日（金）から令和 9 年 4 月 30 日（金）まで**を「雪氷（せっぴょう）対策期間」と定め、24 時間体制で気象・道路状況の把握と雪氷対策作業を行い、安全な交通確保に努めます。

雪氷対策期間の開始に先立ち、冬季の高速道路の交通安全と雪氷対策作業の無事を祈願する**「雪氷対策出陣式（安全祈願祭）」を下記のとおり、全道 5 か所の管理事務所で実施します。報道関係者の皆さまに公開しますので、ぜひご取材ください。**

お客さまには、冬用タイヤの装着などの冬装備を早めに行っていただくとともに、雪氷対策作業へのご理解とご協力をお願いします。

1．雪氷対策出陣式（安全祈願祭）の日時

日時	場所	参加人員・作業車数	管理事務所名
10 月 8 日（木）10：00～11：00	道央道　札幌 JCT	約 120 名・約 20 台	札幌
10 月 8 日（木）10：00～10：30	道央道　北広島 IC	約 100 名・約 10 台	北広島
10 月 8 日（木）10：00～10：30	道東道　音更帯広 IC	約 70 名・約 25 台	帯広
10 月 8 日（木）11：00～11：30	道央道　室蘭 IC	約 70 名・約 30 台	室蘭
10 月 15 日（木）10：20～10：50	道央道　旭川鷹栖 IC	約 70 名・約 30 台	旭川

※雨天の場合は、車庫などで行います。

出陣式の様子（安全祈願の神事）

高速道路での除雪の様子

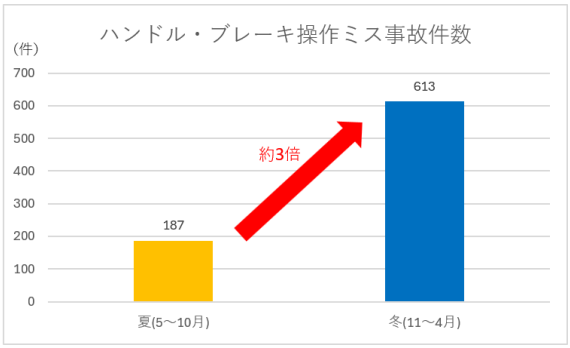
※取材を希望される場合は、実施日の前日までに各管理事務所窓口にご連絡ください。
当日は、開始時刻の 10 分前までに、会場の管理事務所の受付にお越しください。

2．交通事故と降雪の状況

北海道内の高速道路では、ハンドルやブレーキの操作ミスを原因とする交通事故の件数が、冬季は夏季の**約３倍**となっています。例年、初冬の 10 月上旬頃から降雪が始まるので、気象・路面の状況に応じ、スピードを落とした慎重な運転や、冬用タイヤの装着など、早めの冬装備で安全運転をお願いします。冬用タイヤに交換した際には、必ずご自身でナットの締め方に緩みが無いか確認するとともに、交換したタイヤの空気圧も確認し、脱輪事故防止やタイヤバースト防止にご協力をお願いします。

NEXCO 東日本公式 YouTube チャンネル（E－NEXCO driveplaza）では、安全運転のコツや緊急時の対処を学べる動画を配信しています。

昨シーズン（令和７年 10 月～令和８年４月）の北海道内高速道路の各観測地点における平均累計降雪量は、約 398.0 ㎝でした。観測した降雪量が最も多かった地点は、道央自動車道・常磐トンネルで、累計降雪量は 958.6 ㎝でした。（詳細：別紙 1）



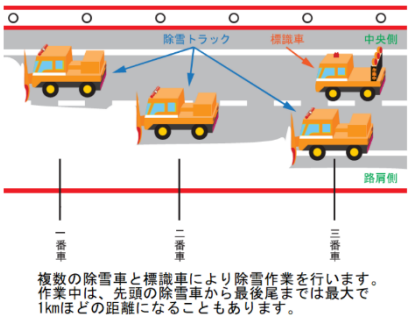
対象期間：令和７年５月～令和８年４月（当社調べ）

交通安全啓発動画

3．除雪作業に関するお願い

①除雪車の低速走行にご協力をお願いします。

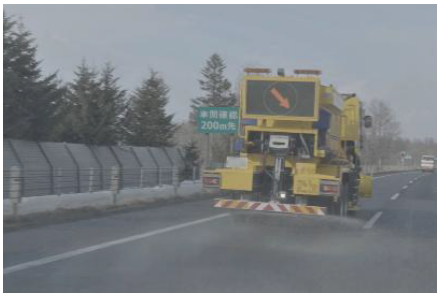
路面状況や気象に応じて車両の編成を変えながら、
時速 50km 以下で除雪作業を行います。
除雪作業中は除雪車両の追い越し禁止のため、
速度を落として車間距離を十分に確保し、
除雪車両に追行してください。
高速道路ならではの除雪方法については、
別紙２をご覧ください。



除雪トラックと標識車による
除雪のイメージ

②凍結防止剤散布作業車の追い越しにご注意ください。

路面凍結が予測される場合、事前に凍結防止剤を
散布します。
散布中の作業車を追い越しする際は、凍結防止剤が
車にかかる恐れがありますので、十分ご注意ください。



凍結防止剤散布の様子

③晴れていても作業を行うことがあります。

路面状況により、除雪、凍結防止剤散布、路肩部排雪などの
作業を行うことがあります。また、通行が危険と判断された場合は
通行止めとなることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

4．通行止め解除見込時間のお知らせ

北海道内の高速道路の交通事故、故障車、緊急工事（事故復旧・路面補修等）、雪に関する事象などの通行止め解除見込時間を LINE 公式アカウント・公式 X(旧 Twitter)・高速道路交通情報サイト「ドラとら」（https://www.drivetraffic.jp）にてお知らせをしています。

5．LINE 公式アカウント・公式 X（旧 Twitter）で高速道路情報を配信しています。

NEXCO東日本 LINE 公式アカウント(@e-nexco)	NEXCO東日本北海道支社 公式 X(旧Twitter)アカウント(@e_nexco_kita)

昨シーズンの高速道路の降雪状況

別紙1

降雪状況（累計降雪量）

※令和7年10月16日～令和8年4月30日
（NEXCO東日本観測データ）

観測点
R7累計降雪量（R6累計降雪量）

① 昨シーズン（10月～4月）の北海道内の高速道路の平均累計降雪量は、約398.0ｃｍでした。また、特に降雪量が多かった地点は、下記のとおりです。

１位　常磐トンネル（道央道 深川IC～旭川鷹栖IC）　958.6cm
２位　金山トンネル（道央道 豊浦IC～黒松内JCT）　813.1cm
３位　黒松内ジャンクション（道央道）　732.4cm

② **昨シーズンの雪氷作業にあたった作業車の総走行距離は、約１９.０万km（地球約４.７周分）でした。**

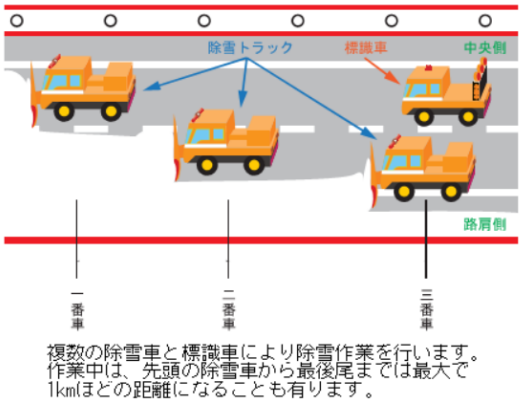
NEXCO東日本は、お客さまの安全を守るため、２４時間体制で雪氷対策作業に取り組んでいます。

別紙2

NEXCO東日本の除雪作業～高速道路ならではの除雪

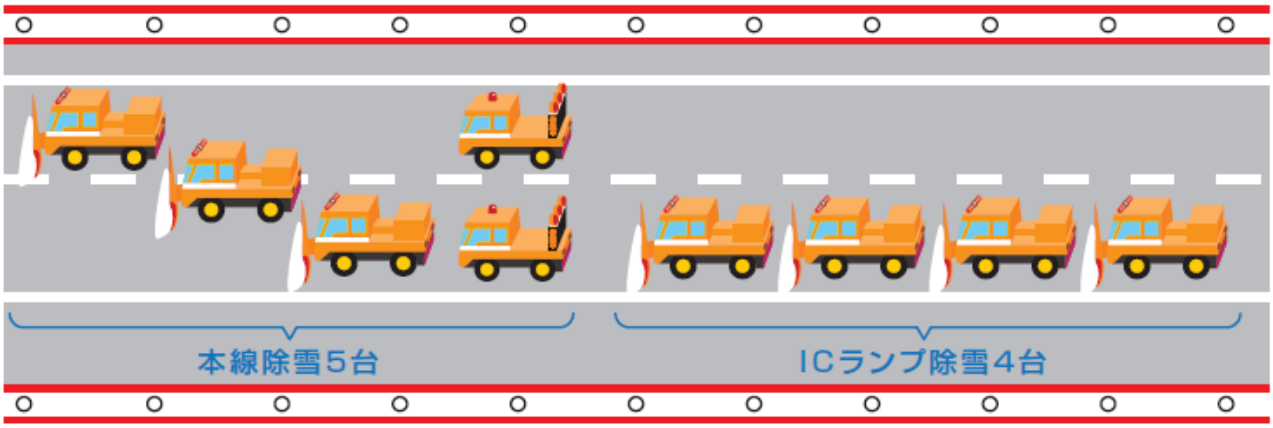
地域や降雪状況に伴い、高速道路では以下の方法で効率的な除雪作業をしています。

通常の除雪



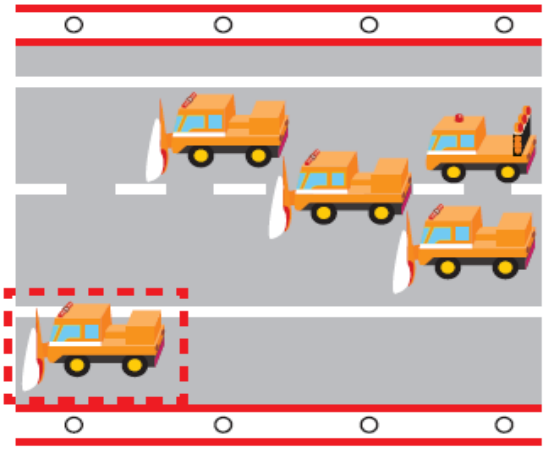
除雪トラックを3台と標識車１台を組み合わせて低速走行しながら除雪します。

重交通区間や高架区間等の除雪（マルチ除雪）



本線除雪車両とランプ除雪車両を区分することで、通常の除雪作業よりもランプ部（入口・出口）を、効率的に作業ができます。特にIC間距離が短い連続高架区間では、除雪編成を組み替えずに作業ができ、作業時間の短縮ができます。
（上図は高架区間での除雪編成となります。新千歳空港IC～札幌南IC間でも同様な編成で除雪を行っております）

厳冬期の除雪（パワー除雪）



厳冬期に長時間にわたり大量の降雪がある場合など、車線確保のため路肩側の除雪車を1台追加し先行させ、路肩堆雪部を拡幅する作業を組み合わせた編成（5台）で一体的に除雪を行うものです。